



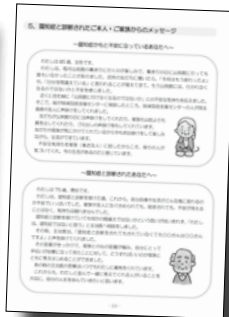
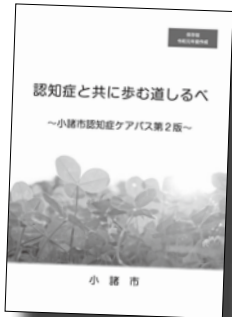
# 認知症と共に、よりよく暮らしていくために ～認知症の方への接し方のポイント～

問 高齢福祉課 長寿支援係



## 認知症について理解を深めていただくために ～小諸市認知症ケアパスを活用しています～

認知症ケアパスは、認知症症状についてや相談の流れ、本人の思いなどを伝え今後の支援等を一緒に考える際に活用するため、市や地域包括支援センター、市内居宅介護事業所において普段の相談業務などで使用しています。生活機能障害の進行状況に合わせ、いつ、どこで、どのような医療・介護サービスを受ければよいか、これからの流れをあらかじめ標準的に示したもので、サービスが切れ目なく提供されるように活用するために作成しました。市のホームページにも掲載されており、必要な部分を抜き出して使うこともできます。



本人やご家族のメッセージも載っています！



◀ケアパスは  
こちらから  
ご覧になれます



## 認知症の方への接し方

認知症の人はすべて分からなくなったり、自覚がない訳ではありません。うまくいかないが増えると、「なにかがおかしい」と不安を感じ始めます。不安を抱えながらどうしたらいいか分からず、自分を守るために取り繕ったり、周囲から見ると上手とは言えない言動で表現します。

しかし、「嬉しかった」「悲しかった」などの感情は比較的最後まで保たれると言われています。間違いや失敗を指摘したり、否定や、理屈に任せた説得は認知症の人の罪悪感や孤独感を募らせます。認知症の方自身を「何もできない人」「覚えていない人」として振舞ったり叱責したり、先回りして何でもやってしまうのではなく、どんな気持ちでいるかを理解し寄り添って対応してもらうことで、本人の安心につながります。

人にはそれぞれ個性や長年積み上げてきた歴史があります。認知症になる以前の様子も思い浮かべながらその人らしさを大切に、本人の聞いてほしいこと、言葉にできない思いを探ってみましょう。

そうは言っても、日々関わる方には戸惑いや葛藤があり、寄り添った対応が難しいと感じることもあります。1人で抱えることのないよう、相談できる相手や場所を見つけ、介護者自身をいたわることも大切です。私たちも日々の関わりの中で、声を聴き寄り添い、本人の思いを広く発信していきたいと思っています。高齢福祉課や地域包括支援センター（☎26-2250）を相談先の一つとして加えていただき、様々な思いや声を聴かせてください。

何かおかしい…



### 認知症を正しく理解するための

### 「認知症サポーター養成講座」を開催中

認知症を正しく理解するための「認知症サポーター養成講座」を出前講座にて随時開催しています！

講座をご希望の方は高齢福祉課までお問い合わせください。

また、認知症の方への対応を寸劇にて分かりやすく説明した、認知症啓発動画

「物盗られ妄想への対応 ～お財布がない！～」もぜひご覧ください！！▶▶▶

